

2020年10月14日

おおさかマイボトルパートナーズ会議



水Do！ & Refill Japanの活動



水Do!ネットワーク 事務局長
瀬口 亮子

水Do！（スイ・ドウ）とは



Since 2010 水Do!

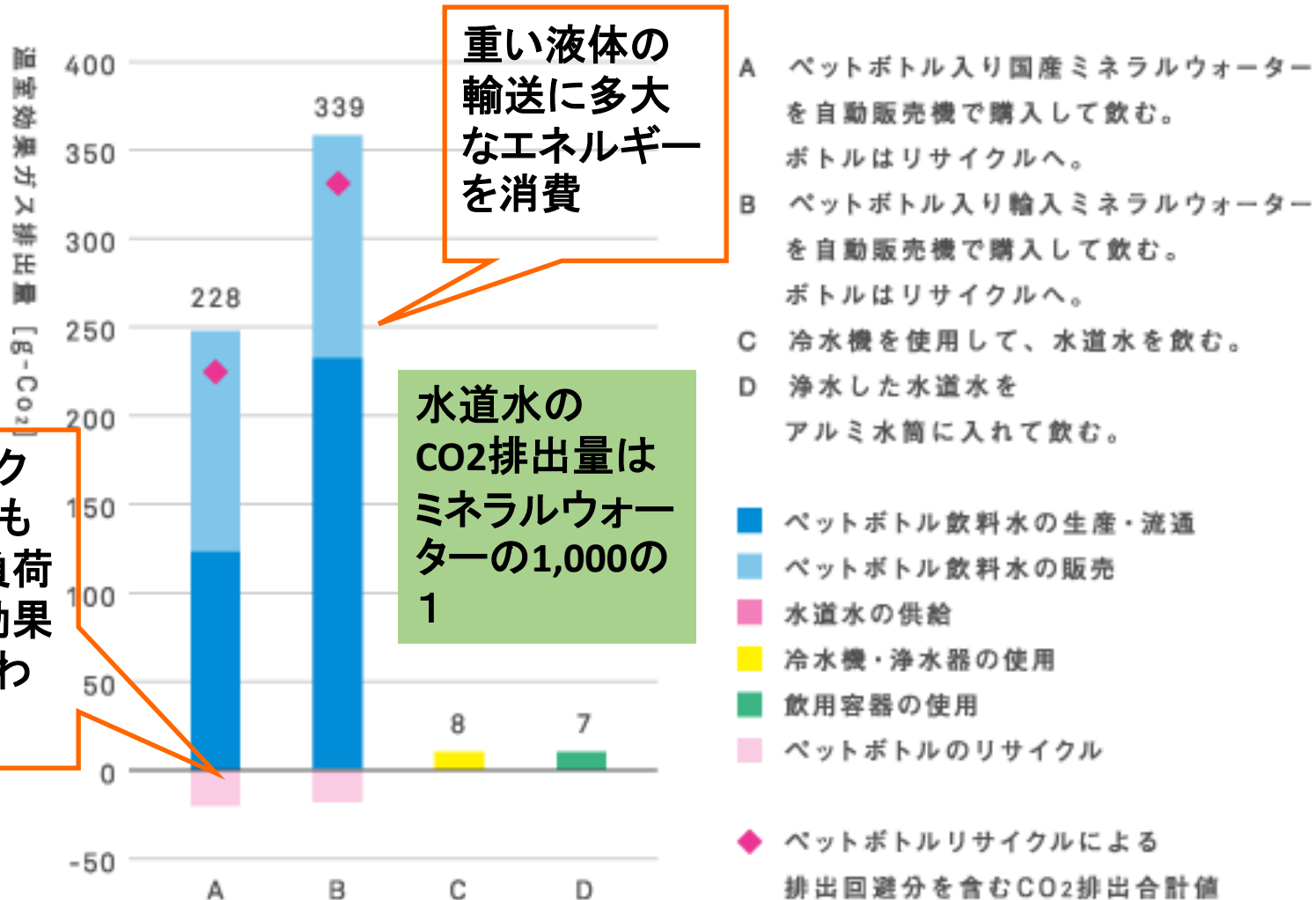
- ・ペットボトル等の使い捨て（ワンウェイ）容器入りの飲料の利用を減らし、水道水の飲用を推進することにより、環境負荷の低減、地域の水資源保全、人にやさしいまちづくりを促進するキャンペーン。
- ・2010年6月国際環境NGO FoE Japanの活動として開始、2014年度より水Do!ネットワークとして活動を拡大。

<http://sui-do.jp>

ペットボトル入り飲料水と水道水の 環境負荷比較 その差は歴然

飲料水 (500ml) 利用のCO₂排出量比較

東京大学・平尾研究室による試算



Refill Japanとは



- 誰もが気軽に利用できる街中の水飲み場・給水機や、水筒に無料で給水してくれる店舗等の「給水スポット」を増やし、利用を広げることで、ペットボトル等の使い捨て容器入り飲料の利用を減らし、環境負荷の低減、魅力的なまちづくり等を推進する活動のプラットフォーム。2019年5月キックオフ。
- 地域で給水スポットづくりに取り組む市民団体、行政、企業等、様々な主体がプラットフォームに参加。
- 事務局は、水Do!ネットワーク。
- 英国のRefillキャンペーンと提携。
- 公式サイト<https://www.refill-japan.org>

Refill Japanの給水スポット

【大原則】

- 誰でも無料で利用できる(× 会員制、× 特定のボトルの購入義務等)
- 水道水である(× 宅配水のウォーターサーバー等)



【スタイル】

- 水飲み場(常温、冷水)
- 水筒用給水機
- 店舗での給水サービスなど



Refill Japanの活動

- 各地の「地域リフィル」が主役！
- 既存の水飲みインフラの確認、登録、モニタリング（基本現場確認）
- 地域のお店に給水スポットへの参加を呼び掛ける
- イベント会場に給水ステーションを導入する
- 地元の自治体や交通機関などに給水インフラの設置を働きかける
- 全国メンバーが一同に会するRefillサミット開催。



Refill 大阪の活動

- 天神祭で給水ステーションを運営(2019年7月):
2日間で655人が利用
- 天神商店街でマイボトル持参状況アンケート調査
& 啓発活動(2020年8月):2日間でのべ200人以上が回答
- 決起集会「大阪のまちに給水スポットを広げよう！」開催(2020年8月):
約50名参加
- Refill Japanの給水スポット登録



Refill Japanの成果

- 日本初の給水スポットを広げるための協働プラットフォームとして、全国の関係者の連携の基盤に
- 日本初の水道直結式仮設給水ステーションの活用による給水インフラの新たなプロモーション
- 地元団体確認による信頼性の高い給水スポットマップ
- Refillサミットにおける給水スポット拡大に向けた提言発表
- 新宿御苑に日本国内公園初のボトル給水機導入を実現



Refill Japanの参加方法

- Refill Japanのボランティアに参加する
- 地域のRefillの活動に参加する
- 地域のRefillを立ち上げる
- 給水協力店舗になる
- 個人サポーターになる
- 企業パートナーになる



※ご関心をお持ちの方は、お気軽にご連絡ください。

Refill Japan ウェブサイト <https://refill-japan.org> お問い合わせフォームから

または E-mail: info@refill-japan.org